

DX 推進研修業務プロポーザル質問票に関する回答

事業者	質問の内容	本市回答
A	<p>研修環境について</p> <p>・教室レイアウト準備に関わる作業は弊社となりますでしょうか？</p>	<p>いいえ。</p> <p>机の移動といった当日の研修会場の準備は、当方で実施します。</p> <p>レイアウトについては、研修に合わせて協議に応じます。</p>
A	<p>DX 体験研修初級および業務フロー研修</p> <p>・演習用ケーススタディ作成にあたって、一部ケースは貴市の実情に沿って作成すると効果的と考えますが、Webサイトに掲載されている実施計画以上、事務事業に関わる情報提供は可能でしょうか？（DX 関連のケース作成への活用を検討しています。）</p>	<p>研修に必要な範囲で情報提供が可能です。</p> <p>ただし、提供できる内容は業務担当課と打ち合わせが必要となることをご承知おきください。</p>
A	<p>DX 体験研修中級</p> <p>・アジャイル思考については、概念理解を目標として良いでしょうか？</p> <p>行政事務においてアジャイル思考の活用は誤解と混乱を招く恐れがあり、現在の IT 開発現場での実情や課題点をご説明した方が、行政事務の改善には効果的だと考えるためです。</p>	<p>概念を理解することは必要です。ご指摘のとおり、アジャイルの考え方は行政業務において馴染み深いものではなく、直ちに受け入れにくい側面があると考えています。</p> <p>しかし、本研修では“何か困っていることがあれば職員同士で共有し一緒に解決する”といった、効率的に業務を進めていくために定期的に振り返りや反省をし、自分たちの業務や運用を最適なものに調整する（≡アジャイル思考）といった“実践”することができる職員の育成を期待するものです。</p>
B	<p>補助講師について</p> <p>「7.要件（オ）共通事項」にて「講師および補助講師は研修1回に対し最低2名確保すること」とございますが、補助講師の設定については必須となり</p>	<p>補助講師は必置です。（講師1名、補助講師1名の2名が最小構成です。）</p> <p>仕様でお示しした研修内容は、グループワークや演習があることを想定しています。</p> <p>補助講師は、受講生が円滑に講義を受ける</p>

	<p>ますでしょうか。</p> <p>また、必須の場合は補助講師の役割についてご教示いただけますと幸いです。</p>	<p>ことができるよう、講師とは別に机間巡視や必要なアドバイス等の役割を想定しております。</p>
B	<p>複数研修の実施について</p> <p>2つの研修を午前・午後で一回ずつ実施をすることは可能でしょうか。</p> <p>例えば「DX 体験研修」をそれぞれ午前・午後で実施し、</p> <p>合計2日間で4回実施するなどの対応を想定しております。</p>	<p>可能です。</p> <p>ただし、研修会場の空き状況に依存しますことご承知おきください。</p>
C	<p>【6. 研修概要】</p> <p>DX 体験研修 初級（4回）について、4回とも同じ参加者の想定でしょうか。または、それぞれ別々の参加者の想定でしょうか。1回参加された方が、2回目もご参加されるか否かをご教授いただきたいです。</p>	<p>別々の参加者を想定しています。</p> <p>（1回参加した職員は、2回目以降参加することはありません。）</p>
C	<p>【6. 研修概要】</p> <p>業務フロー研修（2回）について、2回とも同じ参加者の想定でしょうか。または、それぞれ別々の参加者の想定でしょうか。1回参加された方が、2回目もご参加されるか否かをご教授いただきたいです。</p>	<p>別々の参加者を想定しています。</p> <p>（1回参加した職員は、2回目以降参加することはありません。）</p>
C	<p>【11. その他】</p> <p>研修講師について、再委託は認められますでしょうか。</p>	<p>業務の全部又は主要な部分を一括して第三者に委託することができません。ただし、あらかじめ本市の承諾を得たときは、この限りではありません。</p> <p>再委託を行う必要性や合理的な理由などを考慮して、適切にご対応ください。</p>